



PCI DSS v4.0 タイムラインの更新

PCI DSSv4.0 タイムラインに関する前回のブログ「追加の RFC (Request For Comments) を支援するために PCI DSS v4.0 タイムラインを更新」([PCI DSS v4.0 Timeline Updated to Support an Additional RFC \(pcisecuritystandards.org\)](https://www.pcisecuritystandards.org/blog-post/2021/09/21/Updated-PCI-DSS-v4.0-Timeline-to-Support-an-Additional-RFC)) の更新情報として、PCI SSC は PCI DSSv4.0 の発行を 2022 年 Q1 を目標といたします。このタイムラインには PCI DSSv4.0 のバリデーション文書ドラフトへのフィードバックを提示するための追加 RFC (Request For Comments) のプロセスを考慮しています。

今回の改訂の影響の大きさを勘案し、最終版の発行に先立ち、参加団体 (Participating Organizations)、QSA (認定評価機関)、ASV (認定スキャンニングベンダー) 宛てにドラフト版基準書のプリレビューを提示いたします。プリレビューはステークホルダーが正規にリリースされる前に追加的な時間を使い v4.0 基準書についてよく理解することを意図しています。

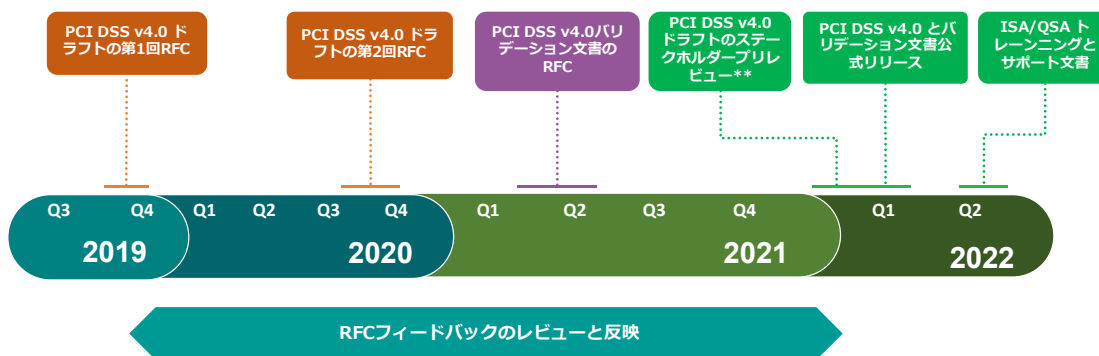
参加団体 (Participating Organizations)、QSA (認定評価機関)、ASV (認定スキャンニングベンダー) のためのプリレビューは 2022 年 1 月に予定され、PCI DSS v4.0 ドラフトと「Summary of Changes」などの文書などが対象です。基準書の最終版はバリデーション文書および基準書翻訳版の初版と共に 2022 年 3 月に正式なリリースを予定しています。

直近 2 回の RFC フィードバックサマリー (PCI DSSv4.0 ドラフト v0.2 (2020) および PCI DSSv4.0 バリデーション文書 (2021)) については 2022 年 3 月に RFC 参加者にご提示されます。

PCI DSSv4.0 を支援することができる QSA および ISA 向けトレーニングは 2022 年 6 月に実施を目指します。

下の図表は バリデーシヨン文書の追加 RFC、PCI SSC ステークホルダー向けプリレビュー期間、PCI DSS v4.0 基準書・バリデーシヨン文書その他付属資料のリリースを含む更新後の PCI DSS v4.0 策定タイムラインの概要を示しています。

PCI DSS v4.0 策定タイムライン*



* すべての日付は現在の見通しに基づいており変更があり得ます。

** プリレビューはPO (Participating Organizations-参加団体)、QSA、ASVIに対し行われます。

移行期間

更新後のタイムラインには組織が PCI DSS v3.2.1 から PCI DSS v4.0 へ更新する移行期間が含まれます。移行を支援するため、PCI DSS v3.2.1 は全ての PCI DSS v4.0 関連資料 - 基準書、サポート文書(SAQ、ROC、AOC を含む)、トレーニング、プログラムの更新 - がリリース後 18 か月間は有効性が維持されます。

移行期間は組織が v4.0 における変更点をよく理解し、レポートテンプレートとフォームを更新、変更された要件に対応するための計画と実践するための時間的猶予を提供します。移行期間が終了した段階で PCI DSS v3.2.1 は引退し v4.0 は基準書の唯一の有効なバージョンになります。

未来日付要件

v3.2.1 および v4.0 双方が有効である移行期間に加え、v4.0 の中の新要件では“未来日付”として臨時的期間が指定される場合があります。

PCI DSS においては、新要件の中で準拠対応を完了するまでに追加的な時間を提供するために未来日付が指定される場合があります。未来日付が指定された要件はその日付まではベスト

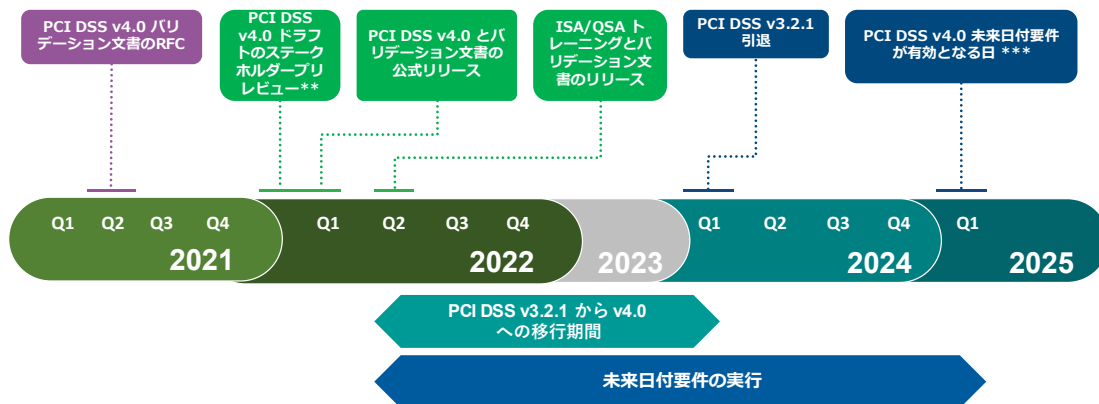
ラクティスとして見做されます。この期間中は組織は未来日付要件のバリデーションを求められません。バリデーションは求められませんが、組織は未来日付前にコントロールが実施され評価される準備ができていることが推奨されます。指定された未来日付に到達すると要件は有効となり適用されます。

PCI SSC は PCI DSS v4.0 が未来日付の付く多くの新要件を想定しています。しかし、その正確な数は基準が完成するまでは不明です。

PCI DSS v4.0 のリリースの準備が完了するまでこれらの新要件の有効な未来日付は確認されませんが、組織が全ての新要件に対応するため必要に応じて新しいセキュリティコントロールとプロセスを計画・実行するために十分な時間が提供されるでしょう。未来日付は基準の中でコントロールを実行する場合に新要件が及ぼす全体的な影響に依存します。現在のドラフトに基づき、未来日付は計画されている移行期間を超え、PCI DSS v4.0 リリース後から 2 年半～3 年の間で設定されることが予想されています。

計画された移行タイムラインの概要と未来日付要件の可能性のあるタイミングを下記図表に示します。

PCI DSS v4.0 移行タイムライン*



* すべての日付は現在の見通しに基づいており変更があります。

** プリレビューはPO（Participating Organizations-参加団体）、QSA、ASVIに対し行われます。

*** 未来日付要件の有効日は全ての新規要件の確認の上で決定されます。

PCI SSC は PCI DSS v4.0 の進捗の最新情報を PCI Perspectives ブログ([Subscribe to PCI Perspectives Blog \(pcisecuritystandards.org\)](https://www.pcisecuritystandards.org/blog))を通じてご提供します。